

日蓮大聖人

御降誕800年慶讃

銅像建立100年慶讃

記念事業勧募のお願い

謹啓 時下の候 御尊台益々御清栄の段
お慶び申し上げます。

当清澄寺は宗祖日蓮大聖人が出家得度
し、御題目を旭が森にて始めてお唱えに
なり立教開宗を宣言された霊場であり、
日蓮宗の尊崇する霊跡大本山であります。

旭が森銅像は大正十二年真言宗時代に
建立されました。その後より日蓮信徒の
参拝が許され多くの参詣者で賑わいまし
た、昭和二十四年改宗起因となった銅像
は令和四年（二〇二二年）に建立一〇〇年
の慶事を迎えます。

当山では本院建設工事に全力を尽くし
ているなか、平成二十五年十月の台風に
より旭が森の崖が崩落致しました、応急
に倒木や土砂を取り除き簡易擁壁をくみ
ました。

皆様のお力にて、お陰様で本院は何と
か完成を致しましたが、旭が森には資金
が無く直ぐには整備に取りかかれない現状
でありました。

旭が森境内二期環境整備として、大き
な雑木の伐採や崖の整備補強等対策を考
えております。

又、現在は正面の大階段を上り下りし
ておりますが、ご高齢の方や足に自信が
無い方は階段下で待つての方が増えてき
ております。

多くの皆様が容易に旭が森に登れるよう
にスロープ工事を考慮し工事に当たります。

しかしながら、御降誕八〇〇年慶讃団
参の予約も増えてきており早く工事を施
工し、皆様をお迎え出来ればと思いい話を
進めてまいりましたが、昨年の千葉県下
を襲う台風十五号にて工事発注を見合わ
せ、年明けには新型コロナウイルス蔓延
にて団参も全てキャンセルとなり現在に
至ります。

正当年までには完成をと大変な時期で
はありますが立教開宗の聖地であります
旭が森環境整備に御助成お力添えを賜り
ますようお願い申し上げます。

合掌

令和二年十一月吉祥日

大本山 清 澄 寺

住職 管長

菅野 日 彰

別當 金子 日 厚

平成25年10月の台風による 旭が森の崖崩落当時の現状



旭が森つづら折り階段付近倒木 斜面崩落



練行堂水屋の堂宇倒壊